

第2次金沢版総合戦略の概要

「第2次金沢版総合戦略」は、計画年次を迎えた「金沢版総合戦略（H26）」を更新するとともに、ICTの普及やインバウンド観光の状況等、目まぐるしく変化する社会情勢に対応していくために、まち・ひと・しごと創生法に基づき、本市の基本目標や具体的な施策を令和2年度から5年間の行動計画として策定するものです。

【基本目標1】若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる

【数値目標】合計特殊出生率 1.48(H30) 1.69(R6)



【主要施策】

- (1) 妊娠から出産・育児までの期間を安心して過ごすことができる環境づくり
 - ・ワンストップ拠点において、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談や支援を実施
 - ・子育て情報を一元的に提供する「金沢子育てお役立ちBOOK」及び「金沢子育てお役立ちウェブ」の内容充実
 - ・公民館と児童館・児童クラブが連携して実施する教室やイベントを支援[新規]
- (2) 結婚の希望をかなえるための環境づくり
 - ・市の外郭団体と連携し、イベントを開催することで、結婚や子育てに関する意欲の向上を支援
- (3) 仕事と家庭の両立や地域活動等への参画を促進する働き方改革の推進
 - ・働き方改革に意欲的に取り組む企業を募集し、その取組への支援や取組の経過等を広く発信 [新規]
 - ・地域の特色・資源を生かした分野や先端科学技術分野等で、産学連携のリカレント教育プログラムを実施[新規]
 - リカレント教育・・・「学校教育」を生涯にわたって分散させようとする理念で「職業上必要な知識・技術」を習得するためにフルタイムの就学とフルタイムの就職繰り返すこと。

子育ての喜びの実感に向けた施策イメージ



子育ての喜びを分かち合うまち

【基本目標2】金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる

【数値目標】市外へ就職する学生数を1割減

約2,000人(H30) 1,800人(R6)



【主要施策】

- (1) 高等教育機関等と連携した「学都金沢」の推進
 - ・就業体験と事前・事後研修を一連で行う教育プログラムとしてのインターンシップ（エクスターンシップ）を産学官連携で実施 [新規]
- (2) まちの魅力を生かした移住・定住の促進
 - ・官民連携による空き家等の活用・流通体制を構築し、空き家の適切な管理・利活用を促進 [新規]
 - ・県外に進学した学生や県外在住者等に向けて、金沢への移住・就業に関する情報を発信 [新規]
- (3) まちに愛着を持つ人材の育成
 - ・文化施設のフリーパス等の特典を受けられる「学都パスポート」の利便性向上や周知普及を促進 [新規]
 - ・小中学生を対象に多様な分野の芸術・文化を気軽に体験できる機会を提供 [新規]
- (4) 金沢と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大
 - ・首都圏の学生と協働して、金沢で活躍する社会人との交流や金沢の魅力・情報を発信する「いいね金沢ゼミ」を開催し、県外の学生等と金沢のつながりを強化[新規]



「関係人口」のイメージ

【基本目標3】イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる

【数値目標】金沢地域の年間入込客数 1,045万人(H30) 1,121万人(R6)
価値創造拠点施設の整備 未整備(H30) 整備(R6)



【主要施策】

- (1) 金沢の文化と产学官の叡智の融合
 - ・新たな価値の創造と子供たちの独創力の育成を目指し、価値創造拠点施設を整備 [新規]
 - ・5G技術を市民生活や企業活動で応用するためのモデル事業を実施 [新規]
 - ・「食、人、未来のつながりを金沢から世界へ」をテーマに、国内のクリエイターや地元の若者達により創造・交流会議を開催[新規]
- (2) 持続可能な観光の振興
 - ・まちなかの観光案内所を運営し、観光客の受入環境を整え、旅行満足度の向上を促進[新規]
- (3) 金沢ブランドを活用した独自産業の創出
 - ・飲食店と連携したキャンペーンを開催し、甘エビ、ズワイガニ等金沢を代表する海の幸を重点的にPRすることで、ブランド力を向上[新規]
- (4) 多様な主体との連携による新分野産業の創出
 - ・環境・福祉・医療等の分野や、産学連携等による新製品開発や既存製品改良に対する研究開発を支援



「価値創造拠点施設」のイメージ



【基本目標4】周辺地域と連携し、心地よく暮らすまちをつくる

【数値目標】石川中央都市圏における連携事業数

80事業(H30) 99事業(R6)



【主要施策】

- (1) 圈域連携による経済・生活圏の形成
 - ・石川中央都市圏の上下水道事業において、施工業者指定事務の共同処理や情報システム基盤の統合に向けた調整、その他の中長期的広域連携手法を検討[新規]
- (2) コンパクトシティの形成
 - ・公共交通の利便性向上を図るために、新技術を活用した移動サービス（MaaS等）の調査・研究[新規]
 - ・駅西広場をはじめとする公園や広場等の公共空間の利活用に向けた取組を官民連携で実施し、賑わい創出とエリアの価値向上を促進 [新規]
- (3) コミュニティ環境の充実
 - ・市民活動団体や学生団体等から提案を受け事業を展開する「協働のまちづくりチャレンジ事業」を実施
- (4) 元気な中山間地域の形成
 - ・森林環境税の導入を見据え効果的な活用策を検討するとともに、森林資源の適切な管理と林業の成長産業化を促進[新規]
- (5) あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり
 - ・アクティブラジニアに対し、多様なニーズに合った活躍の場を紹介する「総合相談窓口」を開設[新規]

MaaSのイメージ



公共空間利活用イメージ